

カナダ金融政策（2024年3月）

インフレ沈静化に向けた進展を評価しつつも利下げにはなお慎重

2024年3月7日

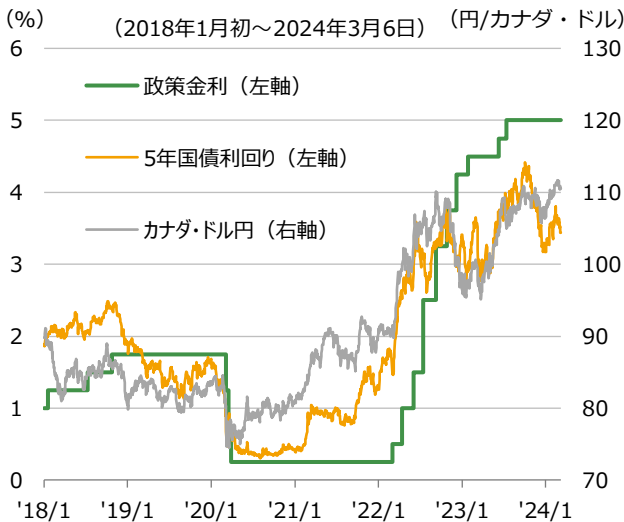
引き続き6月の利下げ開始が最も可能性の高いシナリオ

カナダ銀行（中央銀行）は3月6日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を5.00%に据え置くことを決定しました。据え置きは5会合連続です。

声明文やマクレム総裁の記者会見では、インフレ沈静化に向けた進展を評価しつつも、利下げ開始には慎重であることが強調されたため、市場は金利上昇と通貨高で反応しました。声明文には「賃金上昇圧力が緩和するいくつかの兆候が見られる」と記され、これまで高止まりしていた賃金上昇率が鈍化するとの見通しに自信を深めつつある様子が窺えました。一方、基調的なインフレ動向を示す消費者物価指数の加重中央値とトリム平均値が、それぞれ前年同月比と3カ月前比年率のいずれも3%台前半にあることなどに懸念を示し、マクレム総裁は「利下げを検討するのは時期尚早」と早期利下げの観測をけん制しました。

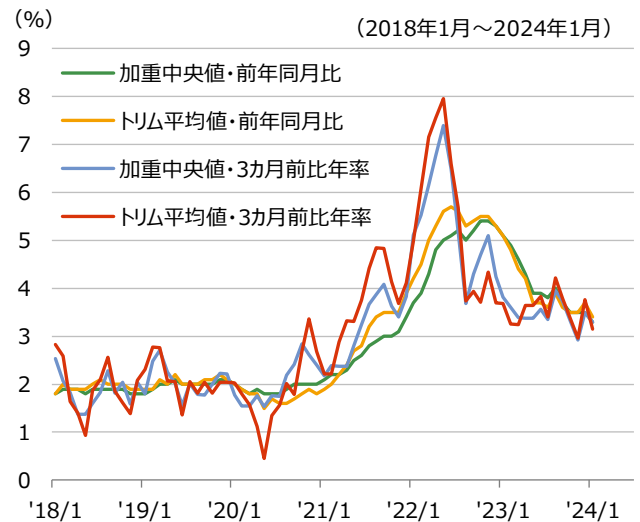
マクレム総裁は利下げ開始時期に関する「フォワードガイダンスを提供しない」と述べているため、今後も消費者物価指数を中心に経済指標をつぶさに見ていく必要があります。もっとも、同行は「基調的なインフレ率の追加的かつ持続的な鈍化を確認する必要がある」とのスタンスを維持しているため、消費者物価指数が2月分までしか発表されていない次回4月10日の会合では、利下げの要件を満たす可能性は低いと考えられます。ただし、その次の6月5日の会合までには3月分と4月分も発表されるため、インフレ率の「追加的かつ持続的な鈍化」を確認できる可能性が格段に高まるでしょう。

カナダ：金利と為替



(出所) ブルームバーグ

カナダ：消費者物価指数（コア指数）



(出所) カナダ統計局より大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。